

# 平成26年度 函館市地域包括支援センター事業評価 函館市地域包括支援センターよこび

## 1. センターの概要(平成26年4月1日現在)

センター所在地	函館市港2丁目2番25号			担当圏域	北部
圏域の人口	28,836人	圏域の高齢者人口	6,528人	圏域の高齢化率	22.6%
職員数	保健師 2人, 社会福祉士 2人, 主任介護支援専門員 1人, その他 3人(配置基準職員 4人)				

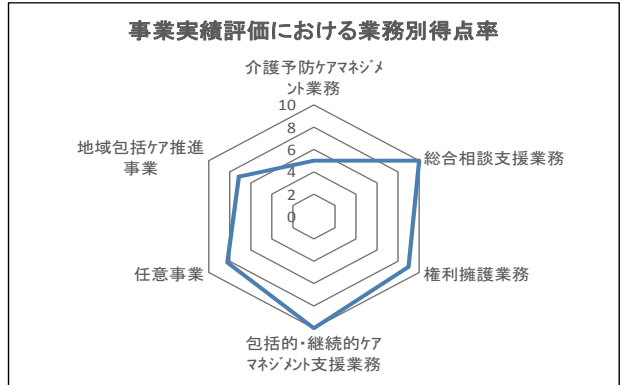
## 2. 事業内容評価(配置基準職員による自己評価に基づく評価)

センターの評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年前に管理責任者や職員の交代があり、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員を中心として業務の立て直しを図ってきた。今年度は三職種以外の職員も業務内容を理解してきたことで、スムーズに事業を進めることができた。</li> <li>・経験年数の少ない職員が多いため、今後は支援のスキルアップが課題と考える。</li> </ul>

市の評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・配置基準職員以外の職員についても、自己評価に基づき管理責任者が面談し、職員の資質の向上に取り組んでいると評価する。</li> <li>・事業計画と実施評価については、センター内で共有されており、組織的に課題解決に取り組んでいる。</li> <li>・センターの規模が小さいことから、職員一人一人が多様な相談に対応しなければならないが、とりわけ権利擁護業務については、事例検討会等を通じて研修をしていただきたい。</li> </ul>

## 3. 事業実績評価(実績に基づく量的評価)

評価	評価基準(得点率)
B	A 期待以上(87%以上)
	B ほぼ期待どおり(69%以上87%未満)
	C 改善を要する(50%以上69%未満)
	D 根本的な改善を要する(50%未満)



センターの評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域内の関係機関との新たなネットワーク構築が難しかった。民生委員や町会とはネットワークができあがっており、新たなネットワーク構築を推進していきたい。</li> <li>・圏域内の介護支援専門員のみを対象としたケアプラン指導研修の開催に至らなかった。開催の要望もあるため、平成27年度は圏域内で開催できるよう計画したい。</li> <li>・地域ケア会議では、個別事例のケア会議を積み重ね地域課題発見機能をもつケア会議につなげ、地域の実態から認知症サポート養成講座の開催をすることができた。</li> <li>・地域ケア会議で、地域課題の抽出までできているため、課題解決に向けて発展させることが今後の課題である。</li> </ul>

市の評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護予防ケアマネジメント業務の情報共有シートの作成数については、過去の実績から計画数値を設定したが、二次予防事業の利用が本人の判断に委ねられており、センター独自の実績向上が難しい面があるため、得点が低いのはやむを得ない。</li> <li>・総合相談対応件数は市の設定する基準値を大幅に超えており、地域包括支援センターの周知が図られていると評価する。</li> <li>・認知症サポーター養成講座は、地域からの要請が増えたことにより、当初の計画以上の開催となっており、地域への周知が図られていると評価する。</li> <li>・高齢者虐待に関する研修等が開催されていないことから、圏域内の関係機関への研修等を開催していただきたい。</li> </ul>

## 4. 運営体制評価

- ・適正に職員を配置している。
- ・職員が働きやすい環境を整えるなど、適正な業務管理が行われている。
- ・外部研修への参加の機会を確保するなど、教育・研修体制を整備している。
- ・携帯電話への転送による、夜間・休日等の迅速な連絡・対応体制を整備している。
- ・苦情への対応については、マニュアルを作成し適切に対応している。
- ・同一法人へのサービス事業者の利用割合は20%未満であり、公正で中立性の高い事業運営を行っている。

## 5. 総評

地域包括支援センターの運営法人として、ほぼ期待どおりの業務を実施していると評価する。圏域内でセンターの存在が浸透していることを活用し、今後は懇談会等を通じて、圏域内の関係機関との新たなネットワーク構築について積極的に努めていただきたい。また、センター内での事例検討等でスキルアップに取り組んでいただくとともに、圏域の特性やニーズに応じ、圏域独自でケアプラン指導研修等に取り組んでいただきたい。